

PEACE HIRAKATA



HIRAKATA JC PRESS
2020.11 vol.51

Instagram → hirakatajc

枚方JC

検索

クリック!



CONTENTS

- P 2.3 …… 吉村知事を表敬訪問
- P 4.5 …… SDGsスペシャル対談
- P 6.7 …… 事業報告(ひらかた未来フェスタ～え?まだSDGs知らないの?～)
- P 8 …… 事業報告(グローバルユースリーダー(GYL)育成事業・会員資質向上事業)
- P 9 …… 事業報告(メンバー向け月例会)
- P10.11 …… 一般社団法人枚方青年会議所(枚方JC)とは、アンケートetc.



吉村知事を表敬訪問

『Stay hungry, stay foolish』

～青年として理想を追求し、愚直なまでに率先して行動しよう～

一般社団法人枚方青年会議所

第60代理事長

今西 義行



大阪府知事

吉村 洋文氏

吉村 洋文氏

大阪府知事。弁護士・税理士。大阪市議会議員、衆議院議員、大阪市長を経て、現職。

吉村知事に聞く、コロナ禍のまちづくり。

今西 義行

一般社団法人枚方青年会議所第60代理事長。税理士・大学非常勤講師。



【はつどい】

今西理事長…知事、本日はご公務たいへんお忙しい中、貴重な時間をありがとうございます。私たちJCは、まちづくりに関わる色々な事業を企画・実施しておりますが、今年はコロナの影響で多くの予定していた事業が中止・延期を余儀なくされました。ただ、私たちが掲げる「まちづくりのできる人づくり」の運動を止めてはいけなく、何かできることはないかと取り組んでいるところですが、

吉村知事…JCのみならず、今年はご苦労されているところだと思います。新型コロナウイルスをなんとか抑えつつも、一方でやはり経済活動も回っていかないといい。みなさんが、若いアイデアや力を結集させて、枚方のまちの中心となり、なんとか工夫をされつつ先進的な取り組みをされていることに敬意を表します。

【手作りマスク事業】

今西理事長…ありがとうございます。コロナの影響で学校が休校になり、会議・集会なども自粛となったところ、私たちにできることは何かと考え、急遽新たに計画・実施したのが、「手作りマスク」事業です。これは、マスク不足に対応するため地域のみなさんと連携して行いました。地元企業からマスクの材料となる生地や紐などを寄付してもらい、JCが裁断・準備して、約3000個の手作りマスク作成キットを市内の郵便局で配布しました。また、地元中学校と連携し、休校中の中学生たちにマスク作成を手伝ってもらい、JCが取りまとめで消毒滅菌して、地元福祉施設等に届けました。JCを中心に枚方の企業・学校・市民などがパートナーシップを組み成果を残せた事業となりました。

吉村知事…このような不測の事態の中でも、みなで助け合っこの困難に打ち勝とうという姿勢が素晴らしいですね。それが、人と人のつながりの中で広がっていく仕組みをつくったいいアイデアで、JCさんならではの事業だと思います。単にマスクを配布するだけではなく、それ以上の効果があったのだと思います。企業や郵便局、学校・学生を巻き込んだことは、その後にもつながっていくのではないのでしょうか。

【SDGsに向けた取り組み】

今西理事長…はい、僕らができること自体は限られていますが、これが市民のみなさんと協力し合うことで、さらに効果を得ることができたのではないかと思います。私たちは本年とくにSDGs(持続可能な開発目標)をすべての事業の支柱にすえて取り組んでいます。この事業においても、持続可能なまちづくりのためのパートナーシップ構築という意味が大きかったと自負しています。2025年に予定されている大阪万博でもSDGsを中心的なテーマにすえられると聞いておりますが、私たちJCはSDGsの観点からも地元枚方の持続的な発展のために今後も事業を展開したいと考えています。

吉村知事…JCのみならずのように、SDGsは身近なところから、自分たちができることから始め行動を起こすことが非常に重要です。SDGsは、国連が掲げた世界の共通課題でもあることから、とても大きなもののように考えがちですが、実際にはその多くは今日日本でそれぞれのまちがもっている課題と共通しているものも多い。大阪万博でも、そうしたSDGsの理念を折り込みながら行っていく予定です。枚方JCさんはまさしく、まちに密着して、まちの課題に取り組んでいらっしゃるの、今後の取り組みにもおおいに期待をしています。

今西理事長…ありがとうございます。今後も引き続きSDGsの理念を中心にすえて、取り組みをすすめてまいります。今年は秋にもSDGs推進事業の一貫として、次の時代をまさに当事者として生きる中学生・高校生を巻き込んだ事業を考えています。彼らに未来を描き、議論し、大人に向けて発表するような事業を計画しています。多くの人を一箇所に集めるのは現状難しいですが、インターネット配信の技術を使うなど工夫を重ね実施できるように日々議論を重ねています。

【枚方JCに向けたメッセージ】

吉村知事…安全対策はもちろん大切ですが、ただ安全対策だけで縮こまってしまつと、経済や生活に別の問題が出てくる恐れもある。我々行政もできることをしっかりとやり

ていきます。まずはできること・できないことをしっかりと考えつつ、できることについてはしっかりと工夫を重ね、アイデアを出し合いどうにか実施していくことが重要です。やらない理由はいくらでも出てくる。でも、その中でどうにかできることを考えて実行していく。何かする中で起こるリスクもあるが、何もしないリスクもある。やはり誰かが動き出さないといい、そう考えています。その意味でも、JCのみならずに期待しております。

今西理事長…JCは若い経営者を中心になっています。地元地域の経済も動かさないと、本当に地域も個人の生活そのものも苦しくなつてきます。知事のテレビ等での積極的なご発言から我々も勇気づけられることが多いです。私たちJCもできることをしっかりとやっていきます。知事もどうぞ、健康にはご留意いただき、引き続き大阪を引っ張っていただけたらと存じます。本日はありがとうございます。

SDGsスペシャル対談



事業構想大学院大学
教授 **岸波 宗洋氏**

岸波 宗洋氏
学校法人先端教育機構
事業構想大学院大学教授・事業構想研究所所長
https://www.mpd.ac.jp



大阪大学グローバルイニシアティブセンター
特任教授 **田和 正裕氏**

田和 正裕氏
JICA関西国際センター次長(兼)大阪大学グローバルイニシアティブセンター 特任教授。
国際協力事業団(JICA: 現国際協力機構)に入団。インドネシア駐在等を経て現職。



「SDGsをJC事業・
ビジネスに生かすには」

「SDGsから考える
『まちづくりのできる人づくり』運動」

【社会課題解決について】
岸波先生：例えば、「母親の産後鬱(うつ)」という社会問題があったら、これを単に家庭内での家事・育児の忙しさによるノイローゼだとして、「育児ロボット」を開発・普及するという解決を実現しても、おそらくうまくいかないでしょうね。問題の本質は、責任感の強い母親と、その周りを取り巻く環境にあるのであって、おそらくロボットが開発・販売されても使われない。解決の一つは「夫や周囲の協力」であり、誰かが行動を起こすことがまず必要です。例えば、父親である夫が妻に協力する。そうすると、そのためには夫の「会社」の理解が必要で、それが社会問題解決という点で「業界全体」あるいは「行政や国」レベルでの社会制度の変革へとつながっていく必要がある。問題の本質を問いかけて、あるべき姿を描き、行動を起こす。そして、そうした行動が広がるのが大事で、SDGsの17番目のパートナーシップにもつながります。

【まちづくり】
今西理事長：なるほど。SDGsは17のゴールがありますが、そこを追ってすぐに事業化するのはなく、自分自身や自分のビジネスについて深く掘り下げる、本質的な問いからスタートするのがいいですね。例えば、私たち枚方JCは、「まちづくりのできる人づくり」を掲げ、まちの課題をみつけ、その解決のための各種事業を構築・実施しています。こうした活動ではどういった点が重要になるでしょうか。
岸波先生：例えば、まちづくりであれば人口減少という大きな課題があった時、すぐに「人口を増やす」という方法がよく挙げられます。しかし、これは一つの手段であって、そこには「どんなまちにしたい」という目的あるいは理想の姿があるべきで、これが重要なのです。課題をみつけて解決する方法はマイナスをゼロにはするかもしれないが、さらにゼロをプラスにする発想こそが大事。それには「あってほしいゴール」を明確に描くこと、これがSDGsの最も本質的なところだと考えています。

【SDGs時代を生きる若者の未来像】
今西理事長：SDGsは未来を生きる子どもたちにとって、まさに重要なキーワードです。枚方JCでは、小学校への出前事業、中学校とのSDGs協働事業、高校生向けの国際人材育成事業など、子どもたちの人材育成事業にも積極的に取り組んでまいりました。こうした人材育成事業においても、将来どんな人になってほしいかを具体的に描くことが大事だと思います。先生は、今の子どもたちにこれから求められる人材像、そのための教育についてはどのようにお考えでしょうか。
田和先生：子どもたちが、今後、さらにグローバル化が進展する世界に住み、SDGs達成に取り組むという観点からは、①世界

【成長の機会について】
今西理事長：そうなる組織の強さはやはり会員一人ひとりの成長によるということになりますね。お話を伺っていてSDGsの取り組みは、17のゴールをそのまま実施する前に、私たち自身がまず自分自身について深く内省することが大事。私はこうだと芯を定め、自立することが必要ですね。
岸波先生：個人の自立は外から与えられるだけでは難しく、自分自身で「気づく」ことが大切。その「気づき」をどうやって導いていけるか。それには「教える」だけではなく、最終的には「寄り添う」ということにつながりますね。自分自身がどのように生きてきたか、どんな人と関わってきたかが大切で、JCの皆さんが若い20代・30代の経営者として多様な関わりを持って社会のため事業構築しているのは素晴らしいことです。SDGsの視点も取り入れて、新たな事業を構想されることを大いに期待しています。

【組織運営について】
今西理事長：JCは単年度制・卒業制という特徴があり、役職も毎年変わります。40歳になると卒業します。これ自体に重要な意味があるのですが、一方で組織として「貫性が保ちにくく、大きな成果が生まれにくいデメリットもあります。
岸波先生：制度の問題だけとはいえないと思います。組織として一貫性を持つためには、誰かに残して積み上げていくこと自体を事業構築の時点から設計しておくことが必要です。それはビジョンともいえますが、JCさんでいえば、まずは理事長が自分はどう考えるのか、何のために生き、JCをどうしたいのかを自分の言葉で語る。そして、それを共有した多くの会員一人ひとりがJC全体の視点から責任を持って取り組む「オーナーシップ」を持つことです。それぞれに与えられた役割を率先して行う「リーダーシップ」からさらに一歩、組織運営を自分ごととして捉え、行動を起こす人が育つと組織は強くなります。
今西理事長：枚方JCでは、入会から委員長、室長、副理事長、理事長といるような役割を毎年変わっていく経験していきます。委員長として与えられた役割を引っ張っていくリーダーシップから、さらに室長、副理事長へ、JCの向かっていく方向性をより広い視点で考え議論していくオーナーシップへとつながっていくとも言えますね。

まず重要ですね。JCがYoung Active citizen(若く行動的な市民)にもつながります。そして、それを広げていくという「運動」もJCならではの重要な役割かと。
岸波先生：「すべては一人から始まる。でも、一人では何もできない」という言葉があります。そこからは、他者を巻き込む原動力が必要で、実はそれが、個人が思い描く理想の姿であり、SDGsというゴールだともいえます。私が教えている事業構想大学院大学でも、ゼミ生にこの「はじめの一人」になってもらいたいと望んでいます。

【枚方JCに向けたメッセージ】
今西理事長：SDGsを「自分ごと」として認識し、「自分自身に何が出来るか」を考えて、たとえ小さくても「具体的な行動」を起こす。それが大事なのだと思っていました。ありがたうございます。最後に、私たち枚方JCメンバーに一言応援のメッセージをいただけたら嬉しいです。
田和先生：関西には「三方よし」や「先義後利」など、倫理と商売のバランスを上手に取る文化があります。同様にJCの皆さんがまちづくりや人材育成の事業とおして、地域のリーダーとしてその「社会的役割」を果たされていることに心から敬意を表したいと思います。大阪万博は「いのち輝く未来社会」がテーマですが、皆さんが掲げられる「明るい豊かなまち」と同義だと思えます。皆さんが、引き続き、未来に続く素晴らしいまちや社会の構築に向けた運動に取り組むことにより、「いのち輝く未来社会」が実現することと思います！

【自分にできることは何かを考え実行する】
今西理事長：枚方JCでは、SDGsの視点を中心にすえて、今年度の事業に取り組んでまいりました。新型コロナウイルスの影響で一部中止・延期となりましたが、急遽計画した「手作りマスク」事業では、市内の企業・学校・郵便局とのパートナーシップを生むことができました。まずは、問題や課題を「自分ごと」と捉え、「自分ができることは何か」を考え実行することが大事だと感じました。
田和先生：そのとおりです。SDGs達成のためには、産官学民すべてのアクターが課題の解決のために「それぞれの社会的役割」を認識し、具体的な行動を起こすことが何より重要です。政治・行政まかせでなく、企業や市民の皆さんの果たす役割がとても大きいと思います。中小零細企業の経営者の方が多いと思うJCさんにも、大きな期待が寄せられていると思います。まずは「将来、自分自身や子どもたちが住みたいと思う社会やまちの未来の姿」を思い描いてみることで、そしてそのために自分に何が出来るかを考え、具体的にに取り組んでみるのが大事ではないでしょうか。

【SDGsとまちづくり】
今西理事長：私達は地元の枚方市を中心に「まちづくり・地域活性化」の運動を行っている団体でもあります。「まちづくり」もSDGsの重要なテーマの一つです。
田和先生：新型コロナウイルスの影響で、まちづくりの方向性も不確実なものになったようにも言われますが、ここから得られた教訓もあると思います。物理的な距離が広がる一方で、心の距離は縮めていく必要があると思います。心のつながりや社会の連帯が必要で、高齢者、女性、障がい者にも配慮し、それぞれが社会のなかでその役割を果たそうとする社会になることを期待しています。この姿を示すことは世界の中の日本の役割と叫びかえることもできます。日本は戦後のみならず、東日本大震災の時も世界の支援を受けていますが、課題先進国といわれる日本がこれまで課題を克服してきた経験を世界に対して発信・リードしていくなど、できることは多くあると思います。

の様々な事業に関心を持つ心探求心、②自分の周りの様々な立場の人にも思いをはせて自分ごととして捉える力(共感性)、③問題を掘り下げて具体的な行動を起こす力(探究心)の3つを持ち合わせている人が求められているのだと思います。そのためには、与えられる課題や指導を受け身で待つのではなく、自ら関心を持って他者と協力しながら解決策を探していく姿勢を促す「アクティブ・ラーニング」が大事だと思っています。
今西理事長：なるほど。私たちが日々行っているJCでの事業構築もまさに「アクティブ・ラーニング」といえるのではないかと改めて気づきました。自信を持って運動を進めていきたいと思えます。

メンバー向け月例会の報告

一般社団法人枚方青年会議所のメンバーには、毎月、様々な学びの機会があります。2020年度も多彩な講師の方々にお越しいただきました。

2月度例会

ZEEBRA 氏(ヒップホップMC・DJ)



『時代を築く挑戦者』～理想を追求する行動力～

理想を追求する行動力・目標に向かう原動力を得ることができるよう、一人ひとりの責任感、団体として目標に向かう統一した組織力を学びました。

4月度例会

江口晋太郎 氏(TOKYObeta Ltd.代表 / 編集者、ジャーナリスト)



『Yes! We are “枚方人”』～何事も当事者意識が大事～

自分たちのまちの課題は自分たちが解決するという当事者意識を持ち、率先して一歩踏み出すことが大切であることを学びました。

5月度例会

世耕石弘 氏(学校法人近畿大学経営戦略本部長)



『応援され続ける人・組織とは』

人を惹きつけ、共感を得て、応援されることの大切さと、それらを実現できる情報発信の重要性・手法を学びました。

6月度例会

オスマン・サンコン 氏(駐日ギニア大使館顧問)



『心通わす民間外交』～言葉や価値観の違いを超えて～

お互いが相手を思いやることができ、心の通う民間外交に発展させることで地域社会に貢献できる、草の根的民間外交について学びました。

7月度例会

長尾 彰 氏(㈱ナガオ考務店 代表取締役、組織開発ファシリテーター)



『最高のリーダーシップとチームワークのつくりかた』

リーダーとしての心構え・思考や、チームとしてのリーダーの立ち振る舞い、個々の助け合いがチーム力アップに繋がることを学びました。

10月度例会

川西 茂 氏(㈱ザ・アカデミージャパン代表取締役社長)



『一丸となって目標に向かうための主体的な組織論』

個性を活かし、組織が一丸となって行動するための、エンゲージメントについて学びました。

グローバルユースリーダー(GYL)育成事業

グローバル社会において、世界で活躍する若者を枚方から輩出しようという目的で2013年より事業開始。
GYL…Global Youth Leaderの略称

大阪府泉南市・岡田浦漁港にて、GYL育成事業を実施しました。GYL育成事業は、枚方JCが2013年より続けている「枚方から世界に羽ばたく人材」を輩出することを目的とした事業です。本年度のテーマは「食の異文化コミュニケーション」でした。互いに他国の伝統的料理を作りあい、ワークショップを通じて、互いの文化の違いを知り、アイデンティティを育み、国際的な感覚を持った人材の育成を目指しました。

担当：渉外交流委員会 森本委員長からのコメント

事業当日は天気も良く参加者の学生の皆さんも楽しんで事業に参加して頂きました。食文化に触れ、市場の競り見学や一緒にワークショップなど行いましたが、積極的な学生さんたちの協力もあり無事乗り切ることができました。



参加者の声

「うまくコミュニケーションできるのか心配でしたが、言葉の壁はすぐに乗り越えられました。自国の文化について知らないことが多く、少し恥ずかしかったです。もっと詳しくなりたいと思いました。」

JAYCEEとしての自覚を育む事業

JAYCEE…(一社)枚方青年会議所の会員

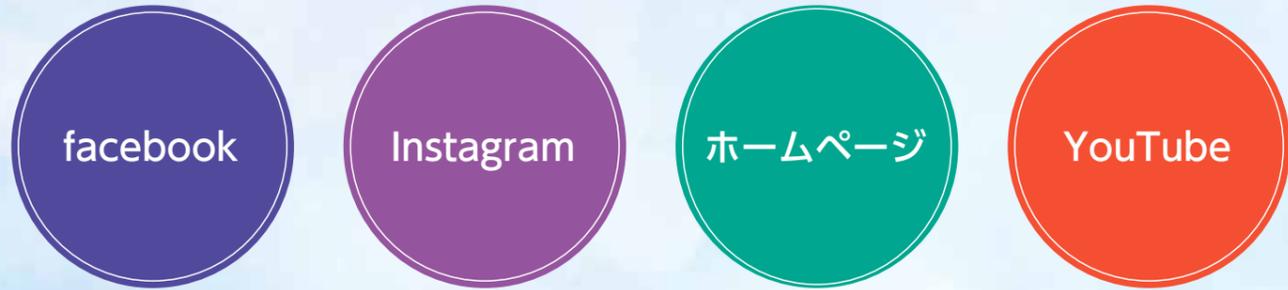
JAYCEEとしての自覚を育む事業を9月に開催しました。コロナ禍において、やむなく中止とした事業も多いですが、どうやったら安全に開催できるのか考え、公益社団法人日本青年会議所(日本JC)が提供しているJCメンバー向けに開発されたプログラムをウェビナーとして開催しました。初めての経験で、慣れないことも多いですが、学びを止めず、できる方法を考え、青年としての活動を続けています。

担当：会員資質向上委員会 薫委員長からのコメント

JCだけではなく自身の日常にも活かせるセミナー内容を選んだおかげで、メンバーからも「非常に学びが多い内容だった。」「なるほど!と思うことが多く、あっという間の90分でした。」と多くのお褒めの声を頂けたのが設営側としても、とても嬉しかったです。JCプログラムは本来、対面開催で行うプログラムではありませんが、日本JCに出向された皆さんが、このコロナ禍でもJCメンバーが学ぶ機会を奪いたくないという思いで、WEBでも開催出来るように再構築してくださいました。WEBでも学び多き内容ではありますが、いつかはまた対面で開催し、枚方JCメンバーのさらなるスキルアップに繋がるようこれからも邁進していきます。



(一社)枚方青年会議所の情報を発信しています!



各SNSから「一般社団法人枚方青年会議所」で検索★

ここまで見て下さった皆様へ!!



アンケートにご協力下さい!!

皆様の率直な感想が必要です。
ご回答お待ちしております!



「私たちが広報委員会です」

編集後記
最後までお読みいただき、ありがとうございます。広報誌PEACE HIRAKATAは令和2年最後の発刊です。今回も本当に多くの方にお力添えをいただき無事発刊することができました。本当にありがとうございました。また枚方JCのホームページやSNSにも日々の活動やメンバーの紹介を掲載しております。フォロー、いいね等くださいますと励みになります。今後とも(一社)枚方青年会議所を宜しく願います。
(坪井 葵)

(一社)枚方青年会議所(枚方JC)とは?

一般社団法人枚方青年会議所(枚方JC)は、「明るい豊かなまちづくり」を目指し、地域のために、地域との協働により社会の発展に貢献する団体です。20歳から40歳までの主に経営者・管理者が所属しています。



女性メンバーも年々増加傾向です。

2014年→191名(女性14名)	2015年→200名(女性17名)
2016年→204名(女性13名)	2017年→185名(女性10名)
2018年→237名(女性18名)	2019年→303名(女性44名)
2020年→275名(女性36名)	

(一社)枚方青年会議所では
女性会員も
多く活躍しています!

JCの3信条

JCが日々の活動で目指してる3つの信条は、

- ・若者が集まって自己啓発・修練を行うこと(修練)
- ・培った力を地域社会への貢献に用いること(奉仕)
- ・会員同士の人のつながりを構築すること(友情)

300名近くの会員がこの修練・奉仕・友情のもとに日々まちづくりのできる人づくり運動をすすめています。



私たちと一緒に活動しませんか (^ ^)

(一社)枚方青年会議所では、20歳から40歳までの共に活動できる仲間を募集しています。職業・性別は問いません。ご興味ある方はぜひ、まずはホームページで活動内容をチェックしてみてください!

【ヒラカッターを探せ!コーナー】

ヒラカッターがページのどこかに2か所隠れています! 隠し場所の正解は枚方JCの公式HPをご覧ください(^v^)/



養鶏場直送のこだわりの地鶏を使用した逸品をご提供!
お客様をおもてなし
新鮮鶏・備長炭使用本格焼鳥
炭火やきとり心
新鮮国産鶏を使用し、一本一本手差ししたやきとりをお楽しみください!
楠葉店 〒573-1106 大阪府枚方市町楠葉1-12-6 B1
TEL 072-857-9510 FAX 072-857-9510
枚方店 〒573-0032 大阪府枚方市岡東町14-10 トムソーヤビル81
TEL 072-807-8855 FAX 072-807-8855

注文住宅・リノベーション
オーダー家具・店舗デザイン
since1911 tel:072-897-1170
エフ・シキシマ
Plus one eco and home creation co.,Ltd

サリエースの土地活用
www.sar.co.jp
SAR 株式会社 サリエース
代表取締役社長 谷岡倫常
〒573-0135 枚方市春日元町1丁目38番20号
TEL:072-858-3318/FAX:072-858-8154

Marriage consult
マリッジコンサル
企業様の独身社員様をお預かりします
Blessing
〒573-1106 株式会社Blessing
大阪府枚方市町楠葉1-12-6-2F
Tel:072-807-8358
info@m-blessing.co.jp

業種 建築・内装軽鉄・内装仕上工事
内装工事・建築工事
株式会社 創信
SOUSHIN
〒573-1133 枚方市招提元町2-8-22
電話 072-867-5719 FAX 072-867-8594

株式会社 **片山モータース**
日産チェリー枚方中央販売株式会社
代表取締役 片山 健
〒573-0163 枚方市長尾元町2丁目7-8
TEL (072)857-1500
FAX (072)857-1400
web:http://www.katayama-motors.com/



枚方JC

検索 クリック!

法人設立 相続税 消費税 確定申告 所得税 法人税

山 積みの問題 解決 いたします。

今西義行税理士事務所
税理士 今西義行 / 税理士 今西義人
Tel 072-867-3333
Fax 072-857-1024

ピザ：外国人雇用、国際結婚
国際：英文契約書、翻訳認証
許可：古物商、酒類、旅館業
法人：NPO法人、会社設立
文書：補助金申請、事業計画

【お問合わせ無料】

072-805-3331
枚方市駅より徒歩5分

「地域社会と、世界を、結ぶ。」
行政書士
川添国際法務事務所

小林木材株式会社

TEL:072-857-7414
FAX:072-850-2553

何でも気軽に
お電話をください。

かかりつけの“いしや” ありますか？

お墓を建てる時に絶対に守らなければならない
枚方石材 5つの約束

- 一つ、たとえ不利な情報であっても、全てお客様へお伝えします
- 一つ、すべて正直に仕事に取り組みます
- 一つ、しつこい営業はいたしません
- 一つ、あなたのお墓を“かかりつけの石屋”として守り続けていきます
- 一つ、わたくしどもは自分の子どもたちに誇れないお墓は建てません!!

枚方産業振興株式会社 枚方石材/枚方生花
ご相談・お問合せはコチラ! ★卒業生への花束も承ります!

072-848-1234

枚方石材 検索

天兒設備

代表 天兒世一

〒573-1196
大阪府枚方市中宮本町7-12
シャンティ-中宮102号室
Tel: 072-898-5533 Fax: 072-898-5000
Mail: ama19820628@yahoo.co.jp

株式会社 T.Cエクセレント

代表取締役
粟津直晶
Tadaaki Awazu

〒561-0881 大阪府豊中市中桜塚2-21-7-3F
TEL.06-6853-7254 FAX.06-6853-7948
E-mail/t.c.e@leaf.ocn.ne.jp

SANESU.MOTORS **NISSAN**

自動車保険・火災保険・傷害保険等を取り扱う
ディーラー特約代理店

民間車検工場

カーリース
レンタカー

株式会社 サンエスマーカス
日産チェリー枚方西販売株式会社
〒573-1171 枚方市三葉1丁目2番14号
TEL (072)851-6000 代 Eメール:sss@ninus.ocn.ne.jp

税金・不動産・相続の総合コンサルティング
税金の確定申告・不動産の鑑定評価

谷友博税理士事務所
株式会社谷総合鑑定

- 決算報告書類の作成
- 税務関係書類作成及び申告代理
- 相続コンサルティング
- 不動産の鑑定評価 ▶ 不動産物件調査

無料相談 税理士・不動産鑑定士 谷友博
近畿税理士会登録099145号 不動産鑑定士登録第 大阪府知事登録(大)第704号
不動産鑑定士登録(第7416号)

まずはお気軽に
ご相談下さい **0120-52-9900**

交野市私部西3-7-3 (交野市駅より徒歩5分) <http://itani-office.com/>

【建設業許可申請をはじめ、各種許認可手続き】

永瀧行政書士事務所

枚方市茄子作1丁目42番24号
TEL:072-852-3822
E-mail:info@nagataki-office.co.jp

あなたにこころ寄せる訪問看護

訪問看護ステーション
まいんど枚方

枚方市大垣内町3丁目2番20号102
電話 072-804-8555
FAX 072-804-8556